

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
国 語	現代の国語	2	6	2	2

使用教科書	東京書籍	新編現代の国語
-------	------	---------

指 導 目 標
言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の多いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
自己を見つめる ・ここそめスープ ・ルリボシカミキリの青	P 6～P 17	1	5月15日（木）
他者に出会う ・未来をつくる想像力 ・水の東西	P 24～P 38	2	6月13日（金）
視野を広げる ・スキマが育む都市の緑と生命のつながり ・無彩の色	P68～P86	3	7月11日（金）
社会と関わる ・鍋洗いの日々 ・森で染める人 ・真夏のひしこ漁	P94～P115	4	10月3日（金）
世界とつながる ・美しさの発見 ・りんごのほっぺ	P142～P158	5	10月31日（金）
未来に目を向ける ・不思議な拍手 ・真の自立とは	P166～P187	6	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
国 語	言語文化	2	6	2	2

使用教科書	東京書籍	新編言語文化
-------	------	--------

指 導 目 標
言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の多いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
〔現代文編〕随筆 ・さくらさくらさくら ・「美しい」ということ 小説 ・とんかつ ・雨漏りの音	P 10～P44	1	5月15日（木）
〔現代文編〕詩歌 ・柳あをめる【短歌】 ・雪の深さを【俳句】 ・冬が来た ・少年の日 ・ I was born	P 50～P65	2	6月13日（金）
〔現代文編〕小説 ・羅生門 ・夢十夜	P72～P116	3	7月11日（金）
〔古文編〕随筆 ・徒然草 ・枕草子 〔古文編〕詩歌 ・折々のうた	P138～P163	4	10月3日（金）
〔古文編〕物語 ・伊勢物語 ・平家物語 〔古文編〕紀行 ・奥の細道	P170～P195	5	10月31日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
〔漢文編〕 漢文入門 ・ 訓読の基本 ・ 故事成語 〔漢文編〕 漢詩 ・ 絶句と律詩 〔漢文編〕 論語 〔漢文編〕 史話	P 210～P253	6	11 月 28 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
国 語	文学国語	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	文学国語
-------	------	------

指 導 目 標
言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す・ (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の多いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
I 部 随筆 ・光の窓 ・月雨物語 小説1 ・山月記 ・窓	P 8～P42	1	5月9日（金）
評論 ・言葉を生きる ・詩と感情生活 小説2 ・山椒魚①	P 43～P59	2	5月23日（金）
・山椒魚② ・沖縄の手記から 詩歌 ・竹、硝子の駒	P58～P114	3	6月13日（金）
小説3 ・こころ 評論2 ・文学のふるさと	P116～P160	4	6月30日（月）
・文学の未来 小説4 ・鞆 II 部 随筆1 ・国語から旅立って	P161～P198	5	7月18日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
・書かれた風景の中へ 詩歌 ・小諸なる古城のほとり ・金剛の露 ・平気	P 199～ P 246	6	10 月 3 日（金）
随筆 2 ・空っぽの瓶 ・クレールという女 戯曲 ・父と暮らせば 小説 2 ・舞姫①	P 248～ P 328	7	10 月 24 日（金）
・舞姫② 評論 ・演技する「私」	P 292～P334	8	11 月 14 日（金）
・映画の可能性のために 小説 3 ・葉桜と魔王 ・蠅	P 335～P374	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
国 語	国語表現	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	国語表現
-------	------	------

指 導 目 標
言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す・ (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の多いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
・分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達 ポイント1・2・3	P16～P27	1	5月9日（金）
情報の整理・伝達 ポイント4 ・身体で表現しよう ステップ1	P28～P39	2	5月23日（金）
ステップ2 ・「問い」を考えよう インタビュー ステップ1・2	P40～P53	3	6月13日（金）
インタビュー ステップ3・4 ・「自分」を表現しよう 面接・自己PR	P54～P67	4	6月30日（月）
ステップ1・2・3・4 ・論理的な文章を書こう 小論文 小論文のタイプ	P68～P85	5	7月18日（金）
A テーマ型 小論文 ステップ1・2・3・4 B 課題文型 小論文 C データ分析型 小論文 D 自己PR型 小論文	P86～P109	6	10月3日（金）
・話し合う力をつけよう ファシリテーション ・情報活用力を身につけよう 広報資料	P112～P141	7	10月24日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
ステップ 1・2・3 ・説得力のある提案をしよう プレゼンテーション ステップ 1・2	P 142～P160	8	11 月 14 日（金）
ステップ 2・3 ・表現を楽しもう 創作	P161～P183	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
国 語	古典探究	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	新編古典探究
-------	------	--------

指 導 目 標
言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す・ (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の多いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
古文編Ⅰ部 1 説話に親しむ ・宇治拾遺物語 ・十訓抄 2 随筆を読む ・徒然草	P 10～P28	1	5月9日（金）
・方丈記 3 作りも物語を読む ・竹取物語 4 和歌の世界 ・小倉百人一首の世界	P 29～P52	2	5月23日（金）
5 日記を読む ・土佐日記 ・更級日記 6 軍事物語を味わう ・平家物語	P54～P74	3	6月13日（金）
7 近世文学の世界 ・世間胸算用 ・おらが春 古文編Ⅱ部 1 随筆を味わう ・枕草子 2 歌物語を楽しむ ・伊勢物語	P76～P116	4	6月30日（月）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
・大和物語 3 歴史物語を読む ・大鏡			
4 和歌・歌論を読む ・袋草紙 ・無名抄 ・古今和歌集仮名序 5 作り物語を味わう ・源氏物語 6 俳諧に親しむ ・近世俳句抄 ・去来抄 ・三冊子 7 伝承の世界 ・古事記	P118～P156	5	7 月 18 日（金）
漢文編Ⅰ部 1 故事と小説 ・小話－四編 2 唐詩と文 ・唐詩－八首 ・文－二編	P 158～P180	6	10 月 3 日（金）
3 史記を読む ・項羽と劉邦 4 中国の知恵 ・寓話－五編 5 三国志の世界 ・十八史略	P 182～P218	7	10 月 24 日（金）
漢文編Ⅱ部 1 小説を読む ・小話－三編 2 古詩を味わう ・古体詩－五首 3 史記を味わう ・廉頗と藺相如	P219～P248	8	11 月 14 日（金）
4 中国の思想 ・儒家と道家 5 日本の漢詩文 ・詩－二首 ・信玄と謙信	P250～P270	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
地理歴史	地理総合	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	地理総合
-------	------	------

指 導 目 標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的加太への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の現実を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解力を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛所、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて自覚などを深める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	P 5～P36	1	5月9日（金）
第3章 資料から読み取る現代社会 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	P37～P67	2	5月23日（金）
2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	P68～P91	3	6月13日（金）
前半復習 （レポート1～3の内容）	P 5～P91	前半 復習	6月30日（月）
4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	P92～P135	4	7月18日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
3 節 人口問題 4 節 食料問題 5 節 居住・都市問題 6 節 民族問題 7 節 持続可能な社会の現実をめざして	P136～P172	5	10 月 3 日（金）
第 3 編 持続可能な地域づくりと私たち 第 1 章 自然環境と防災 第 2 章 生活圏の調査と地域の展望	P 173～ P 217	6	10 月 24 日（金）
後半復習 （レポート 4 ～ 6 の内容）	P92～P217	後半 復習	11 月 14 日（金）
防災	P194～ P 199	防災	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
地理歴史	歴史総合	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	新選歴史総合
-------	------	--------

指 導 目 標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて講師したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の現実を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史の対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国	P 7～P 51	1	5月9日（金）
3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	P 52～P 83	2	5月23日（金）
第3章 国際秩序の変化や大衆化の私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	P 84～P 111	3	6月13日（金）
前半復習 （レポート1～3の内容）	P 7～P 111	前半 復習	6月30日（月）
3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	P 112～P 141	4	7月18日（金）
第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	P 142～P 169	5	10月3日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
3 節 世界秩序の変容と日本 4 節 現代的な諸課題の形成と展望	P 170～ P 197	6	10 月 24 日（金）
後半復習 （レポート 1 ～3 の内容）	P112～P197	後半 復習	11 月 14 日（金）
歴史のまなざし	P130～P131 P138 P190～P191	歴史の まなざ し	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
地理歴史	地理探究	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	地理探究
-------	------	------

指 導 目 標
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的加太への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の現実を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解力を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛所、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて自覚などを深める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1編 現代社会の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活	P 5～P 59	1	5月9日（金）
4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業 2節 農林水産業 3節 食料問題 4節 エネルギーと鉱産資源	P 60～P 111	2	5月23日（金）
5節 資源・エネルギー問題 6節 工業に立地と工業地域の変容 7節 第三次産業	P112～P141	3	6月13日（金）
第3章 交通・通信、貿易、観光 1節 交通・通信	P 142～P 163	4	6月30日（月）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
2 節 貿易と経済連携 3 節 観光 第 4 章 人口、村落・都市 1 節 人口	P 142～ P 163	4	6 月 30 日（月）
2 節 人口問題 3 節 村落・都市 4 節 居住・都市問題 第 5 章 生活文化、民族・宗教 1 節 生活文化の地域性	P164～P191	5	7 月 18 日（金）
2 節 民族・言語・宗教 3 節 民族問題 4 節 現代の国家と領土問題 第 2 編 現代世界の地誌的考察 第 1 章 現代世界の地域区分 1 節 地域区分の意義と方法	P 192～ P 215	6	10 月 3 日（金）
第 2 章 現代世界の諸地域 1 節 東アジア 2 節 東南アジア 3 節 南アジア	P 216～ P 243	7	10 月 24 日（金）
4 節 西アジアと中央アジア 5 節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6 節 ヨーロッパ 7 節 ロシア 8 節 アングロアメリカ 9 節 ラテンアメリカ	P 244～ P 287	8	11 月 14 日（金）
10 節 オセアニア 第 3 編 現代世界と日本の国土像 第 1 章 持続可能な国土像の探究 1 節 日本の地理的諸課題を読み解く 2 節 持続可能な国土像の探究	P 288～ P 313	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
地理歴史	日本史探究	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	日本史探究
-------	------	-------

指 導 目 標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の現実を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開1・2	P 7～P 33	1	5月9日（金）
1節 律令国家の形成と古代文化の展開3・4 2節 摂関政治と貴族文化	P 34～P 64	2	5月23日（金）
第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷	P 65～P 97	3	6月13日（金）
2節 武家支配の広がりや国際交流	P 98～P 122	4	6月30日（月）
第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成	P 123～P 144	5	7月18日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 1	P 123～ P 144	5	7月18日（金）
1節 幕藩体制の確立 2・3・4・5 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	P145～P186	6	10月3日（金）
第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展望 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係	P 187～ P 217	7	10月24日（金）
2節 国民国家と資本主義の成立 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本	P 218～ P 269	8	11月14日（金）
5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題 第4章 現代の日本の課題の探究	P 270～ P 321	9	12月5日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
地理歴史	世界史探究	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	世界史探究
-------	------	-------

指 導 目 標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める、

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
序章 世界史へのまなざし 1 茶と世界史 2 地球と人類の誕生 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	P 7～P 64	1	5月9日（金）
第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア	P 65～P 99	2	5月23日（金）
第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国	P100～P159	3	6月13日（金）
第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	P 160～P 185	4	6月30日（月）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第 12 章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第 13 章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	P 186～ P 224	5	7 月 18 日（金）
第 3 編 一体化していく世界 第 14 章 国民国家と近代社会の形成	P 225～ P 258	6	10 月 3 日（金）
第 15 章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第 16 章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	P 259～ P 297	7	10 月 24 日（金）
第 17 章 第一次世界大戦の発展と諸地域の変容 第 18 章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	P 298～ P 336	8	11 月 14 日（金）
第 19 章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第 4 編 グローバル化と地球的課題 第 20 章 冷戦の世界化と国際制度 第 21 章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第 22 章 21 世紀の地球的課題と人類社会	P 337～P 389	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
公 民	公 共	2	6	2	2

使用教科書	東京書籍	公共
-------	------	----

指 導 目 標
人間としての社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や倫理について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	P 7～P 35	1	5月15日（木）
第3章 公共的な空間における基本的原理 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	P 36～P 83	2	6月13日（金）
第2章 法の働きと私たち	P 84～P 111	3	7月11日（金）
第3章 経済社会で生きる私たち	P 112～P 145	4	10月3日（金）
第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち①	P 146～P 173	5	10月31日（金）
第5章 国際社会のなかで生きる私たち② 第3部 持続可能な社会づくりに参加する	P 174～P 212	6	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
公 民	政治・経済	2	6	2	2

使用教科書	東京書籍	政治・経済
-------	------	-------

指 導 目 標
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標について議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	P 4～P 47	1	5月15日（木）
3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	P 48～P 79	2	6月13日（金）
第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	P 80～P 118	3	7月11日（金）
3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	P 119～P 155	4	10月3日（金）
第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	P 156～P 203	5	10月31日（金）
第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	P 204～P 254	6	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
数 学	数学入門※	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	ラスパ ラーニングスパイラル ベーシック 32 数学
-------	------	----------------------------

指 導 目 標
基礎的知識を確認することを通して、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する力の定着をはかる。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 正負の数（小数）の加減 2 マイナスの数の大きさ 3 加減の筆算、小数の加減 4 内閣の輪を使った図形問題 5 正負の数（小数）の乗除	単元1～4	1	5月9日（金）
1 整数・小数の乗除の筆算 2 割合、百分率 3 2乗・3乗の計算 4 図形の面積や体積を求める問題	単元5～8	2	5月23日（金）
1 分数の加減（同分母） 2 分数の加減（異分母） 3 分数の加減（約分の必要な計算） 4 比較と割合	単元9～12	3	6月13日（金）
1 時間→分、分→時間の計算 2 分数のかけ算 3 分数のわり算 4 道のり、速さ、時間の問題	単元13～16	4	6月30日（月）
1 反比例の関係を用いる問題 2 文字式のきまり 3 文字式の計算、 $(\text{多項式}) \pm (\text{多項式})$ 4 $(\text{多項式}) \times \text{数}$ 、 $(\text{多項式}) \times (\text{多項式})$	単元17～20	5	7月18日（金）
1 文字式の計算、代入 2 1次方程式の解き方 3 1次方程式の解き方（小数・分数）	単元21～23	6	10月3日（金）
1 1次方程式の文章題① 2 1次方程式の文章題② 3 連立方程式の解き方（加減法）	単元24～26	7	10月24日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 連立方程式の解き方（代入法） 2 連立方程式の文章題 3 29。比例式の計算	単元 27～29	8	11 月 14 日（金）
1 相似な図形と比例式 2 31。平方根の定義 3 平方根の四則計算	単元 30～32	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
数 学	数学 I	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	新数学 I、 新数学 I 解答編
-------	------	------------------

指 導 目 標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の家計などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く灌漑数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 章 数と式 1 節 文字と式	P 32～P 47	1	5 月 9 日（金）
2 節 実数	P 48～P 57	2	5 月 23 日（金）
3 節 方程式と不等式	P58～P71	3	6 月 13 日（金）
2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	P74～P91	4	6 月 30 日（月）
2 節 2 時関数の値の変化	P92～P101	5	7 月 18 日（金）
3 章 三角比 1 節 鋭角の三角比	P104～P116	6	10 月 3 日（金）
2 節 三角比の応用	P117～P127	7	10 月 24 日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
4 章 データの分析	P 130～ P 147	8	11 月 14 日（金）
5 章 集合と論証	P 150～ P 160	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
数 学	数学Ⅱ	3	9	3	2

使用教科書	東京書籍	新数学Ⅱ、 新数学Ⅱ 解答編
-------	------	----------------

指 導 目 標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡素・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 2節 2次方程式①	P 4～P 15	1	5月9日（金）
2節 2次方程式② 3節 高次方程式	P 16～P 25	2	5月23日（金）
4節 式と証明 2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式	P 28～P 51	3	6月13日（金）
2節 円の方程式 3節 軌跡と領域 3章 三角関数 1節 三角関数①	P 52～P 69	4	6月30日（月）
三角関数② 2節 加法定理①	P 70～P 82	5	7月18日（金）
加法定理② 4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	P 83～P 95	6	10月3日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
2 節 対数関数 5 章 微分と積分 1 節 微分係数と導関数①	P96～P107	7	10 月 24 日（金）
1 節 微分係数と導関数② 2 節 導関数の応用①	P 108～ P 121	8	11 月 14 日（金）
2 節 導関数の応用② 3 節 積分	P 122～ P 133	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
数 学	数学 A	2	6	2	2

使用教科書	東京書籍	新数学 A、 新数学 A 解答編
-------	------	------------------

指 導 目 標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などを基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動とのかかわりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を 5 段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3 つの観点について 3 段階（A・B・C）で評価する。 ○3 つの観点の評価を踏まえ、5 段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定 2 以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポ ー ト	
		回	提出期限
1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数	P 4 ～ P 21	1	5 月 15 日（木）
2 節 確率①	P 22 ～ P 29	2	6 月 13 日（金）
2 節 確率②	P 30 ～ P 37	3	7 月 11 日（金）
2 章 図形の性質 1 節 平面図形の基礎	P 40 ～ P 49	4	10 月 3 日（金）
2 節 三角形の性質	P 50 ～ P 57	5	10 月 31 日（金）
3 節 円の性質 4 節 空間図形	P 58 ～ P 75	6	11 月 28 日（金）
3 章 数学と人間の活動 1 節 数や位置を表す 2 節 数のつくりを調べる 3 節 はかる 4 節 数学で遊ぶ	P 78 ～ P 111	おまけ チャレ ンジ	

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
数 学	数学 B	2	6	2	2

使用教科書	東京書籍	新数学 B Standard
-------	------	----------------

指 導 目 標
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を 5 段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3 つの観点について 3 段階（A・B・C）で評価する。 ○3 つの観点の評価を踏まえ、5 段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定 2 以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 章 数列	P 8 ～ P 26	1	5 月 15 日（木）
1 節 数列			
2 節 いろいろな数列			
3 節 漸化式と数学的帰納法	P42～P57	3	7 月 11 日（金）
2 章 統計的な推測	P58～P81	4	10 月 3 日（金）
1 節 標本調査			
2 節 確率分布			
3 節 正規分布	P82～P91	5	10 月 31 日（金）
4 節 統計的な推測	P92～P111	6	11 月 28 日（金）
3 章 数学と社会生活	P112～P149	おまけ チャレ ンジ	
1 節 数学的モデル化			
2 節 関数モデル			
3 節 確率モデル			
4 節 幾何モデル			
5 節 フェミル推定			

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
理 科	科学と人間生活	2	6	8	2

使用教科書	東京書籍	科学と人間生活
-------	------	---------

指 導 目 標
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポ ー ト	
		回	提出期限
1 編 生命の科学 1 章 微生物とその利用 1 節 さまざまな微生物 2 節 私たちの暮らしへの微生物の利用	P4～P37	1	5 月 15 日（木）
2 章 ヒトの生命現象 1 節 ヒトの視覚と光の影響 2 節 血糖濃度を調節するしくみ 3 節 体を守る免疫のしくみ 4 節 生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき	P38～P65	2	6 月 13 日（金）
2 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用 1 節 リサイクルとは何か 2 節 金属の性質とその再利用 3 節 プラスチックの性質とその再利用	P66～P93	3	7 月 11 日（金）
2 章 衣料と食品 1 節 衣料の科学 2 節 食品の科学	P94～P115	4	10 月 3 日（金）
3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用 1 節 光の進み方とその基本的な性質 2 節 目に見える光と色の見え方 3 節 目に見えない光とその利用	P116～P137	5	10 月 31 日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
2章 熱の性質とその利用 1節 熱とは何か 2節 エネルギーの利用と私たちの暮らし	P138～P157	6	11月28日（金）
4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害 1節 身近な自然景観の成り立ち 2節 自然災害と防災	P180～P207	おまけ チャレ ンジ	

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
理 科	物理基礎	2	6	8	2

使用教科書	東京書籍	新編物理基礎
-------	------	--------

指 導 目 標
物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどをおして、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポ ー ト	
		回	提出期限
1 編 物体の運動とエネルギー 1 章 直線運動の世界	P10～P33	1	5 月 15 日（木）
2 章 力と運動の法則	P34～P73	2	6 月 13 日（金）
3 章 力学的エネルギー	P74～P91	3	7 月 11 日（金）
2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 1 章 熱	P94～P107	4	10 月 3 日（金）
2 章 波	P108～P133	5	10 月 31 日（金）
3 章 電気	P134～P165	6	11 月 28 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
理 科	化学基礎	2	6	8	2

使用教科書	東京書籍	新編化学基礎
-------	------	--------

指 導 目 標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準

- 各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か 2 章 物質の成分と構成元素	P 7 ～P33	1	5 月 15 日（木）
2 編 物質の構成 1 章 原子の構造と元素の周期表	P34～P47	2	6 月 13 日（金）
2 章 化学結合	P48～P79	3	7 月 11 日（金）
3 編 物質の変化 1 章 物質と化学反応式	P82～P105	4	10 月 3 日（金）
2 章 酸と塩基	P106～P135	5	10 月 31 日（金）
3 章 酸化還元反応	P136～P167	6	11 月 28 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
理 科	生物基礎	2	6	8	2

使用教科書	東京書籍	新編生物基礎
-------	------	--------

指 導 目 標
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、声明を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポ ー ト	
		回	提出期限
1 編 生物の特徴 1 章 生物の多様性と共通性 2 章 生物とエネルギー	P10～P37	1	5 月 15 日（木）
2 編 遺伝子とのはたらき 1 章 遺伝情報とDNA 2 章 遺伝情報とタンパク質の合成	P42～P71	2	6 月 13 日（金）
3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ	P76～P99	3	7 月 11 日（金）
2 章 免疫のはたらき	P100～P117	4	10 月 3 日（金）
4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	P122～P143	5	10 月 31 日（金）
2 章 生態系と生物の多様性	P144～P165	6	11 月 28 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	体育 1	2	2	10	2

使用教科書	大修館	現代高等保健体育
-------	-----	----------

指 導 目 標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己やなかまの考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 単元 スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義①	P136～P145	1	7月11日（金）
3 オリンピックとパラリンピックの意義② 4 スポーツが経済に及ぼす効果	P142～P149	2	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	体育 2	2	2	10	2

使用教科書	大修館	現代高等保健体育
-------	-----	----------

指 導 目 標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己やなかまの考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を 5 段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3 つの観点について 3 段階（A・B・C）で評価する。 ○3 つの観点の評価を踏まえ、5 段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定 2 以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 単元 スポーツの発祥と発展 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	P148～P156	1	7 月 11 日（金）
2 単元 運動・スポーツの学び方 1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達課程と練習	P158～P165	2	11 月 28 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	体育 3	2	2	10	2

使用教科書	大修館	現代高等保健体育
-------	-----	----------

指 導 目 標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己やなかまの考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価を出し、評価2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
2 単元 運動・スポーツの学び方 3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム	P164～P171	1	7月11日（金）
5 体力トレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保①	P172～P177	2	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	体育 4	2	2	10	2

使用教科書	大修館	現代高等保健体育
-------	-----	----------

指 導 目 標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己やなかまの考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
2 単元 運動・スポーツの学び方 6 運動やスポーツでの安全の確保② 3 単元 豊かなスポーツライフの設計 1 生涯スポーツの見方・考え方	P176～P185	1	7月11日（金）
2 ライフスタイルに応じたスポーツ 3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造	P186～P195	2	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	保健 1	1	3	1	2

使用教科書	大修館	現代高等保健体育
-------	-----	----------

指 導 目 標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善をしていくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 単元 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	P6～P35	1	6月13日（金）
12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	P36～P58	2	7月18日（金）
2 単元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	P60～P74	3	11月28日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	P60～P74	3	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	保健 2	1	3	1	2

使用教科書	大修館	現代高等保健体育
-------	-----	----------

指 導 目 標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善をしていくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
3 単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康	P76～P91	1	6 月 13 日（金）
8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備	P92～P109	2	7 月 18 日（金）
5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	P110～P129	3	11 月 28 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	スポーツⅡ	2	2	10	2

使用教科書	大修館	Active Sports
-------	-----	---------------

指 導 目 標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2) 球技における自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
球技への関わり方 1 ゴール型球技 2 ネット型球技 3 ベースボール型球技 4 ターゲット型球技	資料 P271～P277	1	7月11日（金）
競技についてのまとめ 1 おいたちと発展 2 攻防の原則（攻撃や守備） 3 練習のステップの踏み方 4 主なルール	P101～P266	2	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
保健体育	スポーツVI	2	2	10	2

使用教科書	大修館	Active Sports
-------	-----	---------------

指 導 目 標
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2) 体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともに、スポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 体づくり運動への多様な関わり方 2 目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方 3 ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方	資料 P297～P302	1	7月11日（金）
A 体ほぐしの運動 B 実生活で生かす運動の計画	P27～P42	2	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
芸 術	書道 I	2	7	8	0

使用教科書	東京書籍	書道 I
-------	------	------

指 導 目 標
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
書写から書道へ ・書写で学んできたこと	P 2 ～P 9	1	5 月 15 日（木）
漢字の書 ・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習 ・楷書	P10～P37	2	6 月 13 日（金）
・行書	P38～P58	3	7 月 11 日（金）
・草書 ・隸書 ・篆書	P59～P73	4	10 月 3 日（金）
仮名の書	P74～P103	5	10 月 31 日（金）
漢字仮名交じりの書 篆刻・刻字	P104～P138	6	11 月 28 日（金）
はがきによる表現	P127	7	1 月 7 日（水）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
芸 術	書道Ⅱ	2	7	8	0

使用教科書	東京書籍	書道Ⅱ
-------	------	-----

指 導 目 標
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
漢字の書 ・篆書 ・篆刻・刻字	P 3～P21	1	5月15日（木）
・隸書	P22～P29	2	6月13日（金）
・草書	P30～P39	3	7月11日（金）
・行書 ・楷書	P40～P56	4	10月3日（金）
仮名の書	P57～P80	5	10月31日（金）
漢字仮名交じりの書	P81～P106	6	11月28日（金）
創作 心に響いた言葉を書こう	P94～P95	7	1月7日（水）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
外国語	英語入門※	3	9	12	2

使用教科書	東京書籍	ラスパ ラーニングスパイラル ベーシック 32 英語
-------	------	----------------------------

指 導 目 標
基礎的知識を確認することを通して、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を行う能力を養う。さらに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する力の定着をはかる。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
1 be 動詞（現在） 2 一般動詞（現在） 3 三人称単数現在	単元 1～4	1	5 月 9 日（金）
1 代名詞 2 現在進行形 3 「…できる」「…できますか」	単元 5～8	2	5 月 23 日（金）
1 命令文 2 さまざまな疑問文 3 会話：お願いしたりされたりする	単元 9～12	3	6 月 13 日（金）
1 一般動詞（過去形） 2 be 動詞（過去形） 3 会話：～しなくてはならない 4 過去進行形	単元 13～16	4	6 月 30 日（月）
1 未来形 2 動名詞	単元 17～19	5	7 月 18 日（金）
1 to 不定詞①（名詞的用法） 2 to 不定詞②（形容詞的・副詞的用法） 3 会話：誘う／…のように見える 4 if, when, because を使った文	単元 20～23	6	10 月 3 日（金）
1 There is [are]…の文 2 会話：道をたずねる／具合をたずねる 3 比較①（比較級）	単元 24～26	7	10 月 24 日（金）
1 比較②（最上級） 2 受け身の文①（肯定文）	単元 27～29	8	11 月 14 日（金）
1 受け身の文②（疑問文・否定文） 2 to 不定詞③ 3 関係代名詞	単元 30～32	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
外国語	英語コミュニケーション I	3	9	12	2

使用教科書	東京書籍	All Aboard! English Communication I
-------	------	-------------------------------------

指 導 目 標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、花地相手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多く尾支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと[やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し合うことができるようにする。

(4) 話すこと[発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

評価・単位修得認定の基準

- 各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
Lesson1 Breakfast around the World (過去形) Lesson2 Australia's Cute Quokkas (進行形)	P20～P37	1	5月9日(金)
Lesson3 A Train Driver in Sanriku (助動詞)	P38～P47	2	5月23日(金)
Lesson4 A Miracle Mirror (to 不定詞)	P48～P59	3	6月13日(金)
Lesson5 Learning from the Sea (動名詞) Reading1 Short Stories in English	P60～P77	4	6月30日(月)
Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period (受け身)	P78～P87	5	7月18日(金)
Lesson7 A Diary of Hope (比較表現)	P88～P97	6	10月3日(金)
Lesson8 A Door to a New Life (現代完了形)	P98～P111	7	10月24日(金)
Lesson9 Fighting Plastic Pollution (名詞を後ろから説明する分詞)	P112～P121	8	11月14日(金)
Lesson10 Pigs from across the Sea (関係代名詞)	P122～P131	9	12月5日(金)

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	9	12	2

使用教科書	東京書籍	All Aboard! English Communication II
-------	------	--------------------------------------

指 導 目 標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、花地相手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多く尾支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと[やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し合うことができるようにする。

(4) 話すこと[発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

評価・単位修得認定の基準

- 各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson1 A Colorful Island (関係代名詞 what)	P 8 ～P19	1	5 月 9 日 (金)
Lesson2 With the Beatles (比較表現)	P20～P29	2	5 月 23 日 (金)
Lesson3 Wild Men (it の用法)	P30～P41	3	6 月 13 日 (金)
Lesson4 Little Hero (間接疑問文)	P42～P55	4	6 月 30 日 (月)
Lesson5 Special Makeup in Kabuki (to 不調詞を含む表現)	P56～P69	5	7 月 18 日 (金)
Lesson6 Seeds for Future Generations (動詞の目的語になる if 節)	P78～P91	6	10 月 3 日 (金)
Lesson7 Over the Wall (関係副詞)	P92～P105	7	10 月 24 日 (金)
Lesson8 Inspiration from Nature (知覚動詞)	P106～P119	8	11 月 14 日 (金)
Lesson9 The Bitter Truth Behind Chocolate (使役動詞)	P120～P133	9	12 月 5 日 (金)
Lwsson10 Fighting Angel (分詞構文)	P134～P147	おまけ チャレ ンジ	

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
外国語	英語コミュニケーションⅢ	3	9	12	2

使用教科書	東京書籍	All Aboard! English Communication III
-------	------	---------------------------------------

指 導 目 標

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 聞くこと

- ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、花地相手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多く尾支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(2) 読むこと

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

(3) 話すこと[やり取り]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話し合うことができるようにする。

(4) 話すこと[発表]

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

(5) 書くこと

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

評価・単位修得認定の基準

- 各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
Lesson1 Gifts to Barcelona (to 不定詞／動名詞)	P4～P11	1	5月9日(金)
Lesson2 Akkamui (現在完了形)	P12～P19	2	5月23日(金)
Lesson3 Your True colors (使役動詞)	P20～P27	3	6月13日(金)
Lesson4 Our Future Food? (受け身)	P28～P37	4	6月30日(月)
Lesson5 Madagascar (関係代名詞)	P38～P47	5	7月18日(金)
Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors (関係代名詞: <,who> <,which>)	P54～P63	6	10月3日(金)
Lesson7 Green Challenges (比較表現)	P64～P73	7	10月24日(金)
Lesson8 Witnesses of War (名詞を後ろから説明する分詞)	P74～P83	8	11月14日(金)
Lesson9 The Wonders of Lightning (仮定法過去)	P84～P95	9	12月5日(金)
Lesson10 Katherine's Long Journey (関係代名詞 whose)	P96～P105	おまけ チャレ ンジ	

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
家 庭	家庭総合	4	8	8	2

使用教科書	東京書籍	家庭総合
-------	------	------

指 導 目 標
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・開園し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	P10～P19	1	5月9日（金）
第2章 人生をつくる 1 人生を作る 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	P20～P43	2	5月30日（金）
第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	P44～P75	3	6月20日（金）
第4章 超高齢化社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢期の心身の特徴 3 高齢者の自立を支える 4 これからの超高齢化社会	P76～P93	4	7月11日（金）
第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	P94～P103	5	9月30日（火）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食品の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	P 104～ P 159	6	10 月 24 日（金）
第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 被服を作る 5 衣生活の文化と知恵 6 これからの衣生活	P 160～ P 201	7	11 月 14 日（金）
第9章 経済生活を営む 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 家計をマネジメントする 6 これからの経済生活 第10章 持続可能な生活を営む 1 持続可能な社会を目指して 2 一人一人の力で社会を動かす 第11章 これからの生活を創造する 1 生活をデザインする	P230～P267	8	12 月 12 日（金）
第8章 住生活をつくる 1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活	P202～P229	おまけ チャレ ンジ	

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
情 報	情報Ⅰ	2	4	4	2

使用教科書	東京書籍	新編情報Ⅰ
-------	------	-------

指 導 目 標
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポ ー ト	
		回	提出期限
1 章 情報で問題を解決する 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ 3 発想法 4 情報モラル 5 個人情報の流出 6 傷つかない傷つけないために 7 著作権 8 情報技術の発展 9 情報化と私たちの生活の変化 10 よりよい情報社会へ	P 5 ～ P 32	1	5 月 30 日（金）
2 章 情報を伝える 11 コミュニケーション手段の変化 12 ネットコミュニケーションの特徴 13 デジタルの世界へ 14 数値と文字のデジタル表現 15 音と画像のデジタル表現 16 色と動画のデジタル表現 17 目的に応じたデジタル化 18 情報デザイン 19 ユニバーサルデザイン 20 情報デザインの流れ	P 33 ～ P 60	2	7 月 11 日（金）

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
3章 コンピュータを活用する 21 コンピュータとは何か 22 ソフトウェアの仕組み 23 演算の仕組みとコンピュータの限界 24 アルゴリズムの表現 25 プログラムの基本構造 1 26 プログラムの基本構造 2 27 発展的なプログラム 1 28 発展的なプログラム 2 29 モデル化とシミュレーション 30 シミュレーションの活用	P 61～ P 88	3	10 月 24 日（金）
4章 データを活用する 31 ネットワークとインターネット 32 インターネットの仕組み 33 サーバとクライアント 34 インターネット上のサービス 35 情報セキュリティ 36 データの形式 37 データベースの活用 38 様々なデータモデル 39 データ分析の流れ 40 目的に合わせたデータの利用	P 89～ P 116	4	11 月 28 日（金）
5章 活動して提案する 41 アイディアの大量生産 42 検索のコツ 43 職業人インタビュー 44 作ろう！マイルール 45 言葉で図形を伝達 46 光の三原色体験 47 データ量の見積もり 48 ピクトグラム 49 図解表現 50 Web ニュースページ 51 映像制作 52 気まぐれ AI 53 お知らせセンサ 54 プログラムで動きを再現 55 シミュレーション 56 My お天気キャスター 57 バケット通信の体験 58 データの分析 59 コンビニデータベース 60 クラスの実態調査	P 117～ P 149	おまけ チャレ ンジ	

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
工 業	工業技術基礎	3	9	6	2

使用教科書	実教出版	工業技術基礎
-------	------	--------

指 導 目 標
工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 (3) 工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接事業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
<導入編> 1 「工業技術基礎」を学ぶにあたって	P 6～P 9	1	5月9日（金）
2 人と技術と環境	P 10～P 16	2	5月23日（金）
3 知的財産とアイデアの発想1 ～知的財産～	P 17～P 19	3	6月13日（金）
3 知的財産とアイデアの発想2 ～アイデアの発想～	P 19～P 26	4	6月30日（月）
4 事故防止と安全作業の心がまえ1 ～安全作業～	P 27～P 28	5	7月18日（金）
4 事故防止と安全作業の心がまえ2 ～事故の発生～	P 29～P 30	6	10月3日（金）
5 実験・実習報告書の作成 6 発表のしかた	P 29～P 30	7	10月24日（金）
<基礎作業編> 4 デジタルファブ리케이션について学ぼう	P 31～P 42	8	11月14日（金）
11 回路計・オシロスコープの取扱い方 ～電子部品の性質～	P 118～P 127	9	12月5日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
工 業	IT 基礎※	3	9	6	2

使用教科書	翔泳社	IT パスポートキーワード図解
-------	-----	-----------------

指 導 目 標
これからの IT 社会に対応するための基礎を学習する。また、IT 社会は知識だけでなく実際にデータの取り扱いができるスキルが不可欠です。そのために必要な基本的な知識・技能を身に付ける。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を 5 段階で評価。これに面接事業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について 3 段階（A・B・C）で評価する。
○3つの観点の評価を踏まえ、5 段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定 2 以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
第 1 章 IoT と AI IoT・センサ・IoT ネットワーク・BLE・エッジコンピューティング・データサイエンス・テキストマイニング・ビーコン・コネクテッドカー	P16～25	1	5 月 9 日（金）
テレマティクス・アクチュエータ・スマートファクトリー・IoT セキュリティガイドライン・AI・機械学習・教師あり学習と教師なし学習・ディープラーニング・ニュートラルネットワーク	P26～ P 35	2	5 月 23 日（金）
フィンテック・暗号資産（仮想通貨）・ブロックチェーン・チャットボット・デジタルトランスフォーメーション（DX）・まとめ	P 16～ P 41	3	6 月 13 日（金）
第 2 章 ネットワーク LAN・無線 LAN と Wi-Fi・インターネットとパケット・プロトコル・IP アドレス・サブネットマスク・ドメイン名と DNS・DHCP・ポート番号と TCP と UDP・SMTP と POP 3	P 48～ P 59	4	6 月 30 日（月）
HTTP と HTTPS・MVNO・ハブとルータ・bps・補助単位・バイト・4G と 5 G・LTE・キャリアアグリゲーション・SIM カード・ハンドオーバー・まとめ	P 48～ P 71	5	7 月 18 日（金）
第 3 章 セキュリティ セキュリティインシデント・マルウェア・ソーシャルエンジニアリング・不正のトライアングル・パスワードクラックの手口・フィッシング・リスクマネジメント・リスクアセスメント・情報セキュリティの要素・SSL/TLS・ファイアウォール	P 76～ P 113	6	10 月 3 日（金）
第 4 章 コンピュータ基礎 デジタル表現・2 進数・画像のデジタル化・音声のデジタル化・プロセッサとメモリ・5 大装置・記憶装置・オペレーティングシステムとアプリケーション・ファイルシステム	P 126～ P 139	7	10 月 24 日（金）
データベース・オープンソース・プログラム言語・オブジェクト指向・キューとスタック・アルゴリズム・稼働率・クライアントサーバ・クラウドコンピューティング	P 140～ P 150	8	11 月 14 日（金）
第 8 章 法規と制度 著作権法・アクティベーション・不正競争防止法・特定電子メール法・不正アクセス禁止法・個人情報保護法・マイナンバー法・ウィルス作成罪・リサイクル法・ISO と JIS	P 228～ P 243	9	12 月 5 日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
キャリア※	コミュニケーションスキルⅠ※	2	8	4	0

使用教科書	ミネルヴァ書房	高校生のための社会性と情動の学習（SEL-8C）キャリア発達のための学習プログラム
-------	---------	---

指 導 目 標

一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成するため、以下に示す社会性の基礎となる人間関係構築に必要な資質・能力のうち(1)を中心に向上を目指す。

- (1) 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
- (2) 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。
- (3) 仕事をする上で様々な課題を発見・分析し、適切な計画をたててその課題を処理し、解決することができる力。
- (4) 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

評価・単位修得認定の基準

- 各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
印象のよい挨拶、自己紹介	P 42～P 47	1	5月9日（金）
時間管理（スケジューリング）	P 28～P 33	2	5月30日（金）
人間関係を始めるためのスキル	P 106～P 111	3	6月20日（金）
傾聴の心構えとスキル	P 50～P 55	4	7月11日（金）
自己理解の深化	P 56～P 63	5	9月30日（火）
認知が心身に与える影響の理解	P 64～P 69	6	10月24日（金）
気持ちの伝達方法	P 76～P 81	7	11月14日（金）
顔の见えない状況でのコミュニケーション	P 82～P 85	8	12月12日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
キャリア※	コミュニケーションスキルズ2※	2	7	4	0

使用教科書	ミネルヴァ書房	高校生のための社会性と情動の学習（SEL-8C）キャリア発達のための学習プログラム
-------	---------	---

指 導 目 標

一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成するため、以下に示す社会性の基礎となる人間関係構築に必要な資質・能力のうち(2)、(3)を中心に向上を目指す。

- (1) 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
- (2) 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。
- (3) 仕事をする上で様々な課題を発見・分析し、適切な計画をたててその課題を処理し、解決することができる力。
- (4) 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

評価・単位修得認定の基準

- 各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。
- 3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評価を出し、評価2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
金銭管理のポイント	P 34～ P 41	1	5月9日（金）
ストレス対処の様々な方法	P 130～ P 135	2	5月30日（金）
援助希求行動のとり方	P 136～ P 141	3	6月20日（金）
心身の健康	P 148～ P 156	4	7月11日（金）
規範意識の向上	P 144～ P 147	5	9月30日（火）
自己特性に基づいた生き方の選択	P 158～ P 163	6	10月24日（金）
職業観・勤労観	P 164～ P 169	7	11月28日（金）

通信教育実施計画書

教 科	科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
キャリア※	コミュニケーションスキルズ3※	2	8	4	0

使用教科書	ミネルヴァ書房	高校生のための社会性と情動の学習（SEL-8C）キャリア発達のための学習プログラム
-------	---------	---

指 導 目 標
一人一人の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成するため、以下に示す社会性の基礎となる人間関係構築に必要な資質・能力のうち(3)、(4)を中心に向上を目指す。 (1) 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。 (2) 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。 (3) 仕事をする上で様々な課題を発見・分析し、適切な計画をたててその課題を処理し、解決することができる力。 (4) 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容	ページ	レポート	
		回	提出期限
電話のマナー	P 86～P 91	1	5月9日（金）
職場における質問の仕方	P 92～P 97	2	5月30日（金）
以来と断り	P 98～P 103	3	6月20日（金）
困難な状況に陥ったときの対処法	P 170～P 177	4	7月11日（金）
インターンシップの心構え	—	5	—
インターンシップ・仕事への適応①	—	6	—
インターンシップ・仕事への適応①	—	7	—
インターンシップの振り返り	—	8	—

通信教育実施計画書

科 目	単位数	レポート回数	スクーリング回数	テスト回数
総合的な探究の時間	3	3	3	0

使用教科書	—	—
-------	---	---

指 導 目 標
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

評価・単位修得認定の基準
○各レポート、単位認定試験の結果を5段階で評価。これに面接授業への取り組み状況等を考慮して、3つの観点について3段階（A・B・C）で評価する。 ○3つの観点の評価を踏まえ、5段階（5・4・3・2・1）で評定を出し、評定2以上の場合、単位を認定する。

学習計画内容		レポート	
		回	提出期限
・1年を始めるにあたって……「マンドラシート」作成 ・目標の立て方 ・前期を振り返って ・1年を振り返って	——	1	1月7日（水）
・自分はどんな人？……自己分析 ・ポジティブ・リフレーミング ・人との関わりの中で	——	2	1月7日（水）
・探究レポートを作成しよう	——	3	1月7日（水）